



サンフランシスコ市
代表団来訪記録

WW サンフランシスコ市代表団来訪記録

サンフランシスコ市長一行来阪

2007年2月18日(月)より20日(火)までの間、ギャビン・ニューソム サンフランシスコ市長一行約45名が、半世紀にわたる姉妹都市関係を祝賀し、市民相互の直接交流をより多彩にするとともに、サンフランシスコ「日本町開設100周年」(2006年)を契機に、同町の再開発及び米国ビジネスへの窓口としての同市の機能を在阪ビジネス界等へ紹介することを目的に来阪しました。

本市では、両市の友好関係の拡大・進展を図るため、大阪・サンフランシスコ姉妹都市協会、大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携50周年記念事業実行委員会及び同ワーキンググループ、大阪YMCA、在阪経済団体等と連携して一行を迎えました。

到着日である18日(月)には、太閤園にてサンフランシスコ市及びサンフランシスコ・大阪姉妹都市協会共催の50周年記念レセプションが開催されました。

大阪からは、關市長や坂井議長のほか、大阪・サンフランシスコ姉妹都市協会、大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携50周年記念事業実行委員会ワーキンググループの有志の方々にもご参加いただきました。レセプションの中では、ニューソム市長から關市長に『50』の背番号が入ったサンフランシスコ・ジャイアンツのユニフォームが贈られるなど、終始和やかな雰囲気の中、両市民がともに50周年を祝賀しました。



サンフランシスコ主催50周年記念レセプション



サンフランシスコ ニューソム市長より關市長にジャイアンツのユニフォームが贈られる。背番号は50周年の『50』

翌19日(月)には大阪市を表敬訪問しました。表敬訪問時には、両市長による提携50周年の記念宣言への署名が行われたほか、ニューソム市長から、サンフランシスコ市内日本町にある通りの一つを「OSAKA WAY」に改名することが明らかにされました。



サンフランシスコ市長一行大阪役所来訪

その後、ロイヤルホテルにて開設 100 周年を迎えたサンフランシスコ市日本町の紹介と在阪経済界に対し投資を呼びかけるビジネスランチが行われたほか、大阪 YMCA を訪れ記念事業に参加されるなど限られた滞在時間を精力的に過ごされました。



ビジネスランチでスピーチするニューソム市長

また、20日(火)には、本会議に先立ち、ニューソム市長は大阪市会議場で両市のさらなる友好親善の発展を呼びかけました。

サンフランシスコ市長一行は非常に限られた時間での来阪でしたが、50周年に相似しい交流の足跡を残して大阪を後にしました。



大阪市会議場で挨拶するニューソム市長

サンフランシスコ市長

ギャビン・ニューソム (Gavin Newsom) 氏



第42代サンフランシスコ市長。1967年生まれ。2004年1月8日、36歳でサンフランシスコ市長に就任。ニューソム市長は、現在全米で最も注目を集める若手市長の一人であり、市の経済活性化、生活水準の向上などに積極的に取り組んでいる。また、環境問題などの地球規模の課題などにも積極的に発言しており、2005年には、ダボス会議を主催する世界経済フォーラムにより、Young Global Leader の一人に選出されている。市長就任前は、サンフランシスコにおいて、若くして自らワインショップを創業し、成功を収めたビジネスマンでもある。2008年1月再任。



大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携 50 周年記念宣言

大阪市とサンフランシスコ市は 1957 年の姉妹都市提携以来、様々な分野において活発な交流を展開し、相互の信頼と尊敬を礎とした強い絆で結ばれてきた。この友好協力の進展が市民の利益にかなうよう、両市は共に最大の努力をする。

両市は、この提携関係を通じて共に発展することをめざし、相互協力と交流の基盤を一層強固なものとし、そこから生まれる恩恵を享受できるよう、以下のとおり取り組むことを確認する。

1. 都市としての創造力を高めることをめざし、IT、ロボット、デジタルコンテンツ、環境技術をはじめとする産業、観光、文化、教育など多様な分野で活発な交流を行う。
2. 都市再生をはじめ、大都市が直面する様々な課題に対応し、都市経営に資する交流を促進する。
3. 姉妹都市交流に、市民が参画、参加する機会を拡大し、大阪市とサンフランシスコ市の両市民、日本国とアメリカ合衆国の両国民の相互理解の促進に取り組む。

大阪・サンフランシスコ姉妹都市提携 50 周年にあたり、両市は、姉妹都市提携の意義を再度確認し、この関係をさらに発展させていくことを宣言する。

2007 年 2 月 19 日

大阪市内にて

大阪市長
關 淳一

サンフランシスコ市長
ギャビン・ニューソム



San Francisco – Osaka Sister City 50th Anniversary Declaration

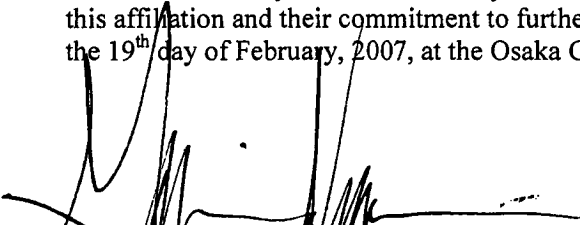
Whereas, the Sister City friendship between the great Cities of San Francisco and Osaka was originally forged on October 7, 1957, nurturing strong bonds of mutual trust and respect through active exchanges in various fields, and the two Cities are both committed to make their best efforts to further develop this friendship and collaboration to bring mutual benefit to their citizens,


Whereas, both cities share a desire to achieve prosperity through this relationship and to gain from the fruits of a stronger foundation of cooperation and interaction,

Therefore be it resolved that both Cities agree to undertake cooperatively:

1. Promotion of exchanges in a wide range of fields such as information technology, robotics, digital content, green technology, tourism, culture and education to enhance each city's creative and innovative potential.
2. Fostering of interactions contributing to the development of management strategies, such as city revitalization, in order to effectively tackle various issues faced in both urban centers.
3. Expansion of opportunities for further involvement and participation by local communities and citizens in sister city exchanges to deepen mutual understandings between the people of America and Japan.

In witness hereof, the Cities of San Francisco and Osaka, on the auspicious occasion of the 50th anniversary of their Sister City relationship, hereby reconfirm the significance of this affiliation and their commitment to further develop it by signing this agreement on the 19th day of February, 2007, at the Osaka City Hall, Japan.


Honorable Gavin Newsom
Mayor of San Francisco


Honorable Dr. Junichi Seki
Mayor of Osaka